

平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立東山東学校
作成日	平成 29年 3月 6日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	○全て単学級の学校なので、外部講師や外部団体の方、地域の方々を招いての取り組みは、評価できるものであり、目標も適切である。	○子ども達の心身を鍛えることは「ゆたかな心」の育成にも、重要であると考えられるため、学校の教育活動全体を通して行う事は、大変良い事である。	○基礎学力の定着は子ども達にとって、重要な事であるが、自分の考えを述べたり、文章化する表現力も重要であると考えられる。言語活動の充実を図ることも大切である。

取組の状況に対する意見	○今年度は、色んな方に学校にきて頂き、様々な体験ができた、と子どもも喜んでいました。	○フッ化物洗口は、子ども達の「歯の健康」にも役立っているので、今後も継続して欲しい。	○教員の授業力の向上は、子ども達の学力向上に直結すると考えられる。今年度の「きのくに学力定着フォローアップ事業」の指定を受けたことは、非常に良かった。
-------------	--	--	---

検証結果に対する意見	○今後も外部講師や地域の方々に来て頂き、子ども達に様々な体験をさせて欲しい。	○JRC活動にも参加して、子どもの豊かな心の育成に役立ててみてはどうか。 ○保護者アンケートで、「いじめ」をなくす取り組みを知っている保護者が75%しかいないのは、少なすぎるのではないか。	○保護者アンケート結果から「家庭学習」の習慣化がなされていないようだ。「家庭学習の手引き」をさらに活用した方が良いのではないか。 ○子ども達に確かな学力をつけるためには、やはり、担任の指導力が重要である。
------------	--	---	---

改善方法に向けての意見	○土曜日の子どもセンター行事に、「四季の郷」公園のイベントにも積極的に参加して、子ども達の視野を広げる。 ○学校のHPも地域に対して、積極的にPRした方が良い。	○子ども達の心身の健全育成のために来年度も様々な活動や取り組みを積極的に行ってもらいたい。	○「うちどく」については、すぐに感想を書かなければいけない、と思うと本を読むのを嫌がる傾向がある。それを書く時間を学校で工夫して欲しい。 ○地域の方に明るい図書室作りのためにボランティアをお願いしてはどうか。
-------------	---	---	---

3 其他のご意見

○教室の蛍光灯が不良で、子どもの視力に影響するので、早急な修理をお願いしたい。
○子どもの送迎について、学校のすぐ前まで車を横付けする保護者がいるが、そのまま、近道を通って、帰ってしまう。途中には一方通行の箇所があるが、何とかならないものか。
○道路の拡幅、右折の際のスペースの確保等、学校周辺の道路事情は決して良好なものではないが、地域がらその実現は非常に難しい。

